

2019（令和元）年度
学校法人ハリウッド美容専門学園
事業報告書

2020年5月1日

目 次

I	法人の概要	- 2 -
	1. 建学の精神	
	2. 学校法人の沿革	
	3. 設置する学校・学科	
	4. 学校入学定員・学生数等の状況	
	5. 役員・評議員・教職員の概要	
II	事業の概要	- 5 -
	1. 事業の概要	
	2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況	
	3. 施設等の状況	
III	財務の概要	- 8 -
	1. 貸借対照表の状況	
	2. 資金収支計算書の状況	
	3. 事業活動収支計算書の状況	

I 法人の概要

1. 建学の精神

1946年（昭和21年）にハリウッド美容室が開業し、広域のお客様にご愛好をいただきながら、多くの美容師見習いの方々が九州各地から集まる専門教育の場としても活動をしていた。1956年（昭和31年）には、美容の道を志す九州各地の若き美容師見習いを、美容技術を通して世の中に真心を伝播することができる人材となるよう育成するために、「真心をもってよしとする」を建学の精神とした、「ハリウッド美容専門学校」を設立。翌年の1957（昭和32年）に初代理事長・古賀次男先生、校長・古賀節子先生のもと、財団法人ハリウッド美容学園・私立各種学校ハリウッド美容専門学校として認定され開校し、通信課程を設置。1998（平成10年）に「専修学校ハリウッド美容専門学校」設置。1956年（昭和31年）以来、64年にわたり全国から集まる美容学生を育成。建学の精神「真心をもってよしとする」という考え方が根付いた卒業生が、全国各地・全世界各地で真心をお客様に伝えながら活躍している。

2. 学校法人の沿革

《法人の設立》

平成11年4月30日 学校法人の設立認可

《学校の設置》

平成10年4月1日 専修学校「ハリウッド美容専門学校」設置

《沿革》

昭和32年	財団法人ハリウッド美容学園・私立各種学校 「ハリウッド美容専門学校」開校・通信課程設置
昭和33年	夜間課程設置
昭和35年	斉美寮完成
昭和37年	校舎一部増築
平成9年	現在の本校舎完成
平成11年	一年制から二年制に移行
平成12年	第二校舎：ハリビタワー完成
平成14年	柳川ハリウッド美容専門学校へ改称 美容学科（ワーキングアカデミー）設置

平成 15 年	ハリウッドワールド美容専門学校へ改称
平成 18 年	エステ学科設置（専門課程）
平成 19 年	第三校舎：かがみ離宮完成 創立 50 周年
平成 22 年	ブライダル学科設置（専門課程）
平成 25 年	美容学科（エステ・ブライダル）設置
平成 27 年	美容学科（エステ専門・エステインターンシップ・ ブライダル専門・ブライダルインターンシップ）設置
平成 29 年	美容学科（トータルビューティアー）設置 エステ学科、ブライダル学科の廃止
平成 31 年	理容学科設置
令和 2 年	メイク学科設置（専門課程） 美容学科（グローバルビューティアーアカデミー）設置

3. 設置する学校・学科および学生数の状況

ハリウッドワールド美容専門学校

2020 年 5 月 1 日現在

学科名	修業 年限	入学 定員	総定員	1 年	2 年	合計
美容学科（美容専門課程）	2	280	560	252	214	466
美容学科（理容修得者課程）	1	(21)	(21)	(0)	(0)	(0)
理容学科（理容専門課程）	2	40	80	5	0	5
理容学科（美容修得者課程）	1	(5)	(5)	1	(0)	1
メイク学科（美容専門課程）	2	40	80	45	0	45

※（ ）は各学科定員の内数。

4. 役員・評議員・教職員の概要

役員概要（2020 年 5 月 1 日現在）

区分	氏名
理事	古賀 英次
理事	古賀 郁
理事	丸林 愛

理事 (外部)	小柳 精子
理事	北村 一須子
理事 (外部)	丸形 美幸
監事	片山 康則
監事	松永 クニ子

	定数	現在数
理事	6	6
監事	2	2
役員 合計	8	8

評議員の概要（2020年5月1日現在）

氏名
古賀 英次
古賀 郁
丸林 愛
小柳 精子
北村 一須子
丸形 美幸
大城 絹子
柴尾 由美子
永島 秀實
関 隆昭
野口 啓二
椛島 和喜
古賀 大観

定数	現在数
13	13

教職員の概要

2020年5月1日現在

専任教員	兼任教員	専任職員	兼任職員
22	103	8	

II 事業の概要

1. 事業の概要

- ① 建学の精神の必守と浸透
- ② 生徒一人一人の入学の目的達成
- ③ 募集 280 名達成
- ④ 国家試験全員合格
- ⑤ 就職全員合格
- ⑥ 職員一人一人の成長教育
- ⑦ 業務マニュアルの作成と確立
- ⑧ 姉妹校（韓国）交流

2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

① 建学の精神の必守と浸透

建学の精神「真心をもってよしとする」を必守していくために、教職員の朝礼での毎日の唱和を行い、学生の朝夕のホームルームにおいても全員唱和で意識付けを行っている。建学の精神に関して、卒業生の言葉からも「真心」というフレーズが多く出てくるように、学生ひとりひとりに浸透し徹底して価値共有がされている。

② 生徒一人一人の入学の目的達成

当校の目的は、建学の精神に則った人材像と学生個々人が目指す人生像（通称：入学の目的）を実現させていくことである。学生ひとりひとりの入学の目的をオリエンテーションで整理・共有し、目的達成に向かって学校・地域一体となり教育活動を行なっている。学生の学校生活においても「入学の目的」が卒業まで挫折することなく進んでいく自身の明確な支えとなっている。

③ 募集 280 名達成

募集目標 280 名に対し、入学者 302 名で達成。

新設のメイク学科への入学者が大きく影響した。

各学科の定員充足達成へ多様な方法により説明機会と来校数の確保を図る。

④ 国家試験全員合格

2019 年度の国家試験においては、残念ながら 1 名が衛生項目での減点で不合格となりましたが、ブライダルコースやエステコースなどの学生も含め、高い合格率を収めている。

⑤ 就職全員合格

就職を希望する学生については全員合格を達成。当初、就職をしないと申告していた学生に対しても、キャリア指導を行い、就職へと繋げている。

⑥ 職員一人一人の成長教育

職員それぞれに責任者としての役割を持たせ、個々人が主体となって行動していけるように成長教育を行なっている。毎朝の朝礼と週二回の責任者会議で自身の「目的」に沿って進んでいるかを確認して、確実な成長を目指している。

⑦ 業務マニュアルの作成と確立

業務の棚卸・整理を行い、業務マニュアルの作成を行っている。広報部については学生募集のマニュアルを作成、教務部については危機管理の対応マニュアルなどの作成を実施している。

⑧ 姉妹校（韓国）交流

韓国 BBS グループとの 20 年以上の姉妹校提携により国際交流を行っている。例年、年二回ほどの来校交流を行なっているが、2019 年度は日韓関係の悪化により、韓国からの渡航自粛ムードにより来校が困難であったために交流ができなかった。一方で、韓国 BBS グループを通しての韓国からの留学生が近年毎年入学しているため、在學生は国際交流を行うことができている。

3. 施設等の状況

① 土地

所在地	用途	面積(m ²)	摘要
福岡県柳川市上町 44 番 1	寮	563.74	
福岡県柳川市坂本町 2 番 1	収益用地	1,271.65	
福岡県柳川市三橋町柳河字又四郎 55 番 1	校地	16,885.57	
福岡県柳川市三橋町下百町 209 番 1	収益用地	1,061.96	
福岡県柳川市新外町 53 番	寮	1,719.23	
福岡県柳川市宮永町 43 番 4,10,11,12,21	研修用地	913.57	
福岡県柳川市佃町字本田 31 番 1,2,3	寮	2,816	
大分県由布市湯布院町大字川上字宮ノ原 1984-141	研修用地	677.74	
合計		25,944.55	

② 建物

所在地	用途	面積(m ²)	摘要
福岡県柳川市坂本町 2 番 1	収益施設	155.60	
福岡県柳川市三橋町柳河字又四郎 55 番 1	校舎	5,920.25	
大分県由布市湯布院町大字川上字宮ノ原 1984-141	研修施設	247.26	
合計		6323.11	

III 財務の概要

1. 貸借対照表の状況

学校法人ハリウッド美容専門学園

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	
科 目	期末残高
固定資産	1,392,330,395
有形固定資産	1,350,451,050
特定資産	0
その他の固定資産	41,879,345
流動資産	1,041,645,474
資産の部合計	2,433,975,869
負債の部	
科 目	期末残高
固定負債	15,397,200
流動負債	306,879,265
負債の部合計	322,276,465
純資産の部	
科 目	期末残高
基本金	2,053,673,172
繰越収支差額	58,026,232
純資産の部合計	2,111,699,404
負債及び純資産の部合計	2,433,975,869

2019年度は、前年度に対して資産が52,204,736円増加し2,433,975,869円となり、負債が44,510,424円増加し322,276,465円となっている。資産の増加については、校地の拡大による土地や学校設備の大型投資により有形固定資産が増加していることが起因している。負債の増加については、通信課の入学者数が増加したことにより、授業料前受金などが増加していることが起因している。

2. 資金収支計算書の状況

学校法人ハリウッド美容専門学園

資金収支計算書

平成 31年 4月 1日から
 令和 2年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目		金 額
収入の部	学生生徒等納付金収入	442,128,500
	手数料収入	12,081,800
	資産売却収入	892,560
	付随事業・収益事業収入	10,495,275
	受取利息・配当金収入	731,620
	雑収入	3,892,301
	借入金等収入	0
	一般収入	23,695,078
	前受金収入	151,742,950
	その他の収入	128,710,552
	資金収入調整勘定	△ 204,024,795
	前年度繰越支払資金	874,744,720
	収入の部合計	1,445,090,561
支出の部	人件費支出	176,407,720
	教育研究経費支出	124,658,348
	管理経費支出	133,962,881
	借入金等返済支出	2,199,600
	施設関係支出	111,980,200
	設備関係支出	12,063,586
	その他の支出	98,436,836
	[予備費]	
	資金支出調整勘定	△ 33,393,878
	翌年度繰越支払資金	818,775,268
	支出の部合計	1,445,090,561

前年度繰越支払資金は 874,744,720 円に対して次年度繰越支払資金は 818,775,268 円と 33,393,878 円減少する結果となった。要因としては、土地購入による施設関係支出の増加や、授業環境の大型投資による設備関係支出の増加など、将来への投資によるもの。

3. 事業活動収支計算書の状況

学校法人ハリウッド美容専門学園

事業活動収支計算書

平成 31年 4月 1日から
 令和 2年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目		期末残高	
教育活動収支	事業活動収入	学生生徒納付金	442,128,500
		手数料	12,081,800
		雑収入	3,892,301
		一般収入	23,695,078
		教育活動収入計	481,797,679
	事業活動支出	人件費	176,407,720
		教育研究費	169,530,716
		管理経費	138,603,649
		教育活動支出計	484,542,085
	教育活動収支差額計		△ 2,744,406
教育活動外収支	事業活動収入	受取利息・配当金	731,620
		その他の教育活動外収入	10,495,275
		教育活動外収入計	11,226,895
	事業活動支出	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額		11,226,895	
経常収支差額		8,482,489	
特別収支	事業活動収入	資産売却差額	△ 752,035
		その他の特別収入	0
		特別収入計	△ 752,035
	事業活動支出	資産処分差額	36,142
		その他の特別支出	0
		特別支出計	36,142
特別収支差額		△ 788,177	
基本金組入前当年度収支差額		7,694,312	
基本金組入額合計		△ 122,128,786	
当年度収支差額		△ 114,434,474	
前年度繰越収支差額		165,684,011	
基本金取崩額		6,776,695	
翌年度繰越収支差額		58,026,232	
(参考)			
事業活動収入計		492,272,539	
事業活動支出計		484,578,227	

教育活動収入の合計は 481,797,679 円、教育活動支出の合計は 484,542,085 円となり、2,744,406 円の減少となった。減少の要因としては、一時的な入学者の減少が影響

している。事業活動収入の合計は 492,272,539 円、事業活動支出の合計は 484,578,227 円となり、翌年度繰越収支差額は 58,026,232 円の増加となっている。